

ハンドボール NO37

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	1
----------	---

年月日	2022 年 10 月 6 日 (木)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A	栃木県										大阪府										B
栃木県		野木町		野木町立野木中学校体育館										1回戦							
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mポ- ンツ	A	B							
7m得点/総数	A 2/3		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B 1/1	7m得点/総数								
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3									
	16	34	10	46	27	32	24	22	17	54	29	41									

No.	栃木県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪府	G	W	2'	2'	D	DR
1	本田 利緒							1	泉 幸歩						
2	鎌倉 絵美子							2	三原 綺乃	1					
3	陣野 瞳	3						3	丸本 恵						
4	齋藤 美紀	2						4	木村 葵	1		1			
5	小館 美紀	3						5	成松 沙弥佳	5					
6	加倉田 結希							6	橋本 南	3		1			
7	小田 麻衣	3						7	平田 ほのか	2					
8	横倉 藍佳	1						8	横山 さら	2					
9	永塚 梓	1		1				9	上田 遥歌	2					
10	知久 彩乃	2						10	川崎 美穂	2					
11	長谷部 真央	6						11	西川 千華	4	1				
12	菊池 麻美							12	前田 優						
監督A	伊藤 宏幸							監督A	山崎 英幸						
役員B	野中 剛							役員B	山川 由加						
役員C	野中 智可							役員C	花野 相三						
役員D	陣野 瞳							役員D	繁田 順子						

A	伊藤 宏幸	チーム役員A署名	山崎 英幸	B
特記事項				

レフェリー	小田 健介	鈴木 孝明	小田 健介	鈴木 孝明
TD	塚田 薫宣		塚田 薫宣	
MO	新井 喜人		新井 喜人	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO 4

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月6日(木)	試合番号	E-1	回戦	1回戦
種別	成年女子	会場	野木町立野木中学校体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
栃木県			大阪府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	11	前半	11	22	
	10	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

地元の応援を背にした栃木と大阪の試合は、大阪のスローオフで始まった。立ち上がり大阪⑨上田の連続得点で大阪が流れをつかみかけたが、栃木も⑩長谷部のカットイン、⑤小籠のロングシュートによる連続得点で3-2と逆転する。その後は大阪の堅い守りと栃木のGK⑫菊池の好セーブで一進一退の攻防が続き、大阪⑩川崎がパスカットからの速攻で6-5と逆転したところで栃木が一回目のタイムアウト。その後、栃木は⑥小籠のカットインからのシュートで同点とするが、大阪も速いリスタートから⑪西川のサイドシュートで7-6とし、流れを渡さない。前半19分、大阪⑩橋本が退場となり、栃木にチャンスが訪れたが、ここから2分間大阪は得点を許さず、逆に⑩横山、⑨上田の連続得点で9-7と2点のリードを奪う。しかしそこから栃木は③陣野の連続得点で25分に9-9の同点とし、そこからお互いに点を奪い合う展開の中、11-11の同点で前半を終えた。

後半は、栃木が⑩長谷部、⑨永塚の右サイドからのシュートで得点を重ね、14-12と2点のリードを奪ったが、大阪は⑪西川、④木村、⑥成松によるパスカットからの速攻で4連続得点し、16-14と逆転に成功。栃木はタイムアウト後、ディフェンスから⑩長谷部の速攻で1点差としたが、13分、大阪の速攻を防ごうとした⑨永塚が2分間の退場となり、その間に大阪が得点を重ね、18-15でこの試合最大のリードを広げた。しかし、その後、栃木は驚異の粘りを見せ、④齋藤が7mTから3連続得点で19-19の同点に追いついた。終盤はお互いに得点が奪えず、我慢の展開が続いたが、24分に大阪⑩川崎がパスカットからの速攻で21-20とリードを奪い、さらに28分⑩橋本のミドルシュートで追加点を奪い、22-20とした。栃木はラスト40秒で⑩長谷部がシュートを決めて1点差としたが、大阪が堅い守りでリードを守り切り、勝利した。

地元栃木と大阪の気迫あふれる激しい試合となり、オープニングゲームにふさわしい好ゲームだった。

記載者氏名	青木 圭
送信日時	10月6日(木) 11:13